

Itoman Co.,Ltd.
Company Profile



For Wonderful Life

 Itoman

ひらめきをカタチにして 人を幸せにする企業です。



明治 10 年、初代伊藤政助の手漉き和紙の製造から始まったイトマンの歴史。以来 140 年、時代のうねりの中で、生み出すモノやその手法は大きく変わりました。しかし、唯一、変わらずに持ち続けたのは、

「ひらめきをカタチにしながら、人を幸せにする企業でありたい」

という想い。私たちが「イトマン・スピリット」と呼ぶ企業としてのあり方です。この想いを胸に、健全で快適な生活のパートナーとしてモノづくりに真摯に取り組んだ結果、現在、パブリック施設で使われる「業務用家庭紙」では、シェア・売上ともに西日本トップクラスとなっています。また、平成 17 年にスタートした「ギフト事業」は大きく成長し、「メディカル事業」「アグリ事業」への挑戦も行っています。こうした取り組みにより、新たな雇用創出と事業規模の拡大を行いながら、

「私たちは社員の幸せを通して、お客様の素敵な日常に貢献します」

という経営理念を叶えて参ります。

事業領域

イトマン株式会社は、「業務用家庭紙」「ギフト」「メディカル」「アグリ」の4つの事業分野で、法人向けに製紙・紙加工技術を活用した独自の消費財提供を行っていきます。



Household paper



1

家庭紙事業

業務用商品を主力に、多彩な品揃えで快適な日常を支えます。



オフィスや学校、ホテル・デパートなどの公共施設で使われているトイレットペーパーの多くを生産しており、しかもほぼすべての商品に再生原料を用いている「循環型リサイクル」メーカーです。最高のおもてなしを演出するハイクオリティブランド Monalis (モナリス)、経済性と機能性を兼ね備えた業務用スタンダードブランド ITOMAN (イトマン)、製紙メーカーが開発した介護用品ブランドここえみは、再生紙のイメージを一新する代表3ブランドです。そのほか多くの種類の商品を開発しており、お客様のニーズにお応えする提案を行っています。皆様の快適な日常を実現し、リサイクルを通じて環境を守るという時代の変化に対応しながら、豊かな社会づくりに貢献しています。



2 ギフト事業

製造業ならではのこだわりで、贈り手の気持ちを届けます。

家庭紙は言うまでもなく消耗品。でも、「私たちがつくるモノを、誰かの笑顔を生み出す存在にすることはできないか」。そんな想いを持って展開しているのが、イトマンオリジナルの Gift Novelty を提案するギフト事業です。企業や店舗の販売促進やイベント景品などに重宝するトイレットペーパーやボックスティッシュをラインアップ。趣向を凝らしたパッケージデザインに、本体の紙にも絵柄をプリントしているのがこだわりです。贈る方の志向に合わせて、また季節や行事に合わせてお選びいただける多彩な商品をご用意しています。もらってうれしい生活必需品に付加価値をプラスしたイトマンならではのアイデア商品で、贈る人と贈られる人の心をつなぎ、たくさんの笑顔を生み出しています。

Seasonal



Seasonal



Gift set



Japanese style



未来事業

まっすぐに未来を見つめて新たなコトにも挑戦します。

イトマンは、決して現状に満足することなく、常に未来を見据えながら歩み続ける企業です。そのため現在は2つの新たな取り組みに着手しています。「メディカル事業」「アグリ事業」新たな挑戦により、企業としてさらなる飛躍を目指します。



メディカル事業

少子高齢化が進む日本にあって、今後、医療・介護施設の果たすべき役割はますます大きくなっていきます。こうした状況を鑑みて、取り組み始めたのが「メディカル事業」です。現在、治療や検査の現場負担を少しでも軽くするような消費財の開発を進めており、幅広く展開していくこうとしています。



アグリ事業

日本の農業は現状、農業従事者の高齢化や後継者不足などさまざまな課題を抱えています。こうした状況を打破しようと、農業関連の幅広い経済活動を行うアグリビジネスに可能性を求める企業が増えています。私たちも持てる技術と知識を生かして、この分野の消耗材に挑戦し、共に日本の農業を支えていきたいと考えています。

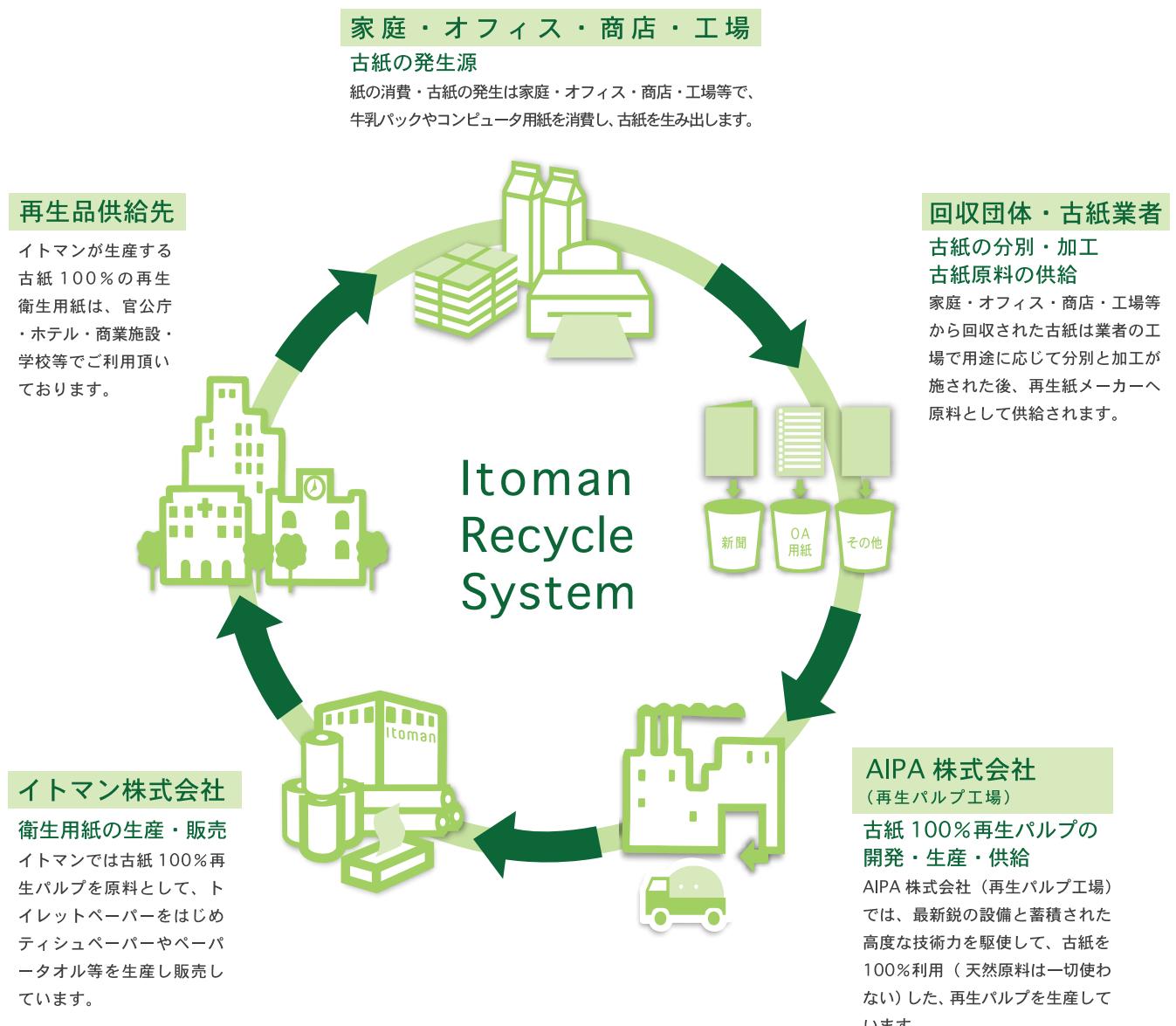


3

A g r i



限りある資源を活かす 循環型リサイクルシステム



消費者のリサイクル意識の高まりとともに、リサイクルの輪が広がっています。家庭・オフィス・商店・工場等は、廃棄物の発生源であると同時に再生品消費現場でもあります。循環型社会は、まず廃棄物の発生段階でよりリサイクルしやすいように、できるだけ用途別に分別排出すること（ただし、紙廃棄物のミックスのように細かい分別が不要なものもあります。）と、再生品を優先的に使用することの二つで支えられています。

イトマン株式会社では AIPA 株式会社（再生パルプ工場）が構築している、ネットワークを中心に紙がゴミではなく、限りある資源として再生される、循環型リサイクル社会の構築に貢献していきます。



For Wonderful Life

日々の暮らしが、素敵な日常であるように。



伊藤 俊一郎

伊藤 俊一郎
代表取締役社長

日々の暮らしが、素敵な日常であるように。

お陰様で私たちイトマンは平成29年に創業140周年を迎えることができました。この節目を好機とし、私たちはNEXTイトマンを目指し挑戦を開始しています。経営理念「私たちは社員の幸せを通して、お客様の素敵な日常に貢献します」を旗印に、社員の幸せと顧客の幸せと共に追求しながら、新たな雇用の創出を進めていきたいと願っています。当社は、製紙・紙加工技術を基にした、法人向け消費財の提供を事業領域としています。この事業領域の中で、「業務用家庭紙事業」を中心に、「ギフト事業」、「メディカル事業」へ展開を進め、未來の「アグリ事業」を含む4事業体制を目指しています。

いずれの事業もお客様の日常を快適にする消費財に注目し、市場ニーズに合わせた新ブランドの立ち上げや成長投資を行っています。少子高齢化や人口減少など、日本が抱えるさまざまな社会問題に対して、私たちは培ってきた技術と独自のアイデアで、社会のニーズに応える商品づくりに取り組んで参ります。イトマンが拠点を置く四国中央市は、伝統的な紙の産地。私たちの歩みが、地域の明るい希望となり、モノづくり大国・日本の一端を支えていくけるように、志を維持し確実に歩み続けて参ります。皆様の「日々の暮らしが、素敵な日常であるように」と願いながら。

沿革

明治 10 年 初代伊藤政助が手漉業を始める
 昭和 36 年 伊藤萬製紙（株）を設立し、1号機を設置しトイレットペーパーの抄造を始める
 昭和 38 年 需要の増大に伴い2号機を増設し、生産能力を3倍に増強
 三共紙器工業（株）を設立し、代表取締役に伊藤俊次が就任する
 昭和 41 年 新銳3号抄紙機を設置
 昭和 42 年 日本工業規格表示許可工場となる
 昭和 44 年 中小企業長官賞を受賞し、合理化優良工場となる新銳5号抄紙機を設置
 昭和 46 年 新銳6号抄紙機を設置
 三共紙器工業（株）から、伊藤萬工業（株）に名称変更
 愛媛バルプ（協）完成と同時に、古紙バルプの購入を始める
 家庭紙業界最大級の7号抄紙機及び冷暖房完備の近代的仕上工場を完成
 ティッシュ加工機を設置しカートンティッシュの生産を始める
 昭和 55 年 イトマン株式会社及びイトマン工業株式会社に社名を変更し、商標を一新する
 2号機をスクラップし、高速新2号抄紙機を設置する
 7号機をスクラップし、高速新7号抄紙機を設置する
 トイレットペーパーのエンボス加工を始める
 スバル（株）設立と同時に、お茶パックやシートペーパーの販売を始める
 アイネット（株）設立と同時に、各種情報化、物流の合理化を促進する
 コアセルフ（紙管なし）の生産を始める
 3号機をスクラップし、高速新3号抄紙機を設置する
 ペーパータオル（ソフト・ハードタイプ）発売
 モナリス（主原料ミルクカートンバルプ）の生産開始
 兵庫県知事より環境にやさしい事業者賞を受賞する
 プリント製品生産開始
 イトマンとイトマン工業が合併する
 ISO14001環境マネジメントシステム承認（審査登録）
 経営理念を更新「Recycle & HappyLife」を企業テーマとする
 代表取締役社長に伊藤俊一郎が就任する
 平成 17 年 商品開発室開設
 金生工場ティッシュ製造ラインリニューアル
 ギフト事業開始（初代クリスマス商品発売）
 下柏工場操業開始
 未来事業推進会発足
 東京出張所開設
 雑貨EXPOギフテックス2008に出店
 経済産業省より雇用創出企業1400社に選ばれる
 環境理念を更新
 営業部、物流部を統合しマーケティング本部へ改名
 金生工場に太陽光発電設置（30kw）
 大阪営業所移転に伴い、マーケティング本部を大阪営業所内へ移転
 東京出張所の移転と同時に東京営業所に昇格
 モナリスブランドリニューアル
 愛媛県より愛媛の誇れる企業50社に選ばれる
 愛媛県より優良循環型事業所の認定を受ける
 メディカル事業開始（採便シート発売）
 平成 26 年 イトマンリテール株式会社を設立する
 イトマンブランドリニューアル
 平成 28 年 愛媛経済同友会より第1回愛媛ふるさと環境大賞を受賞する
 JapanFeelingブランド発売開始
 こえみブランド発売開始
 経営理念、CI更新を行う
 事業所名称を営業所からオフィスに改名
 横浜DC開設
 長尺200m発売開始
 四国経済産業局よりエネルギー管理優良工場を受賞する
 FSC(R)CoC認証取得
 新元号令と商品発売
 デザイン推進部開設
 イトマンブランドリニューアル
 CocoMediブランドの販売を開始
 モナリスブランドリニューアル
 令和 4 年 東京オフィスを完全テレワーク業務体制へ移行
 環境に配慮しLSA重油からLNGガスへ転換（CO₂30%削減）
 介護商品ブランド【こえみ】から【CareCoco】にブランド名を変更



経営理念

私たちには社員の幸せを通して、
お客様の素敵な日常に貢献します。

■ 行動指針 ■

1. 私たちは誠実に取り組み、正しい判断と行動を行います。
2. 私たちは学び方を学び、着実な成長を目指します。
3. 私たちは役割を全うし、結果を出すことに情熱を注ぎます。
4. 私たちは事業環境の変化と共に、新たな挑戦をはじめます。
5. 私たちはひらめきを形にし、独自の商品をお届けします。

会社概要

社名	イトマン株式会社
所在地	〒799-0111 愛媛県四国中央市金生町下分 681 番地
代表者	伊藤俊一郎
法人設立	明治 10 年 創業
	昭和 36 年 9 月 伊藤萬製紙株式会社 設立
	昭和 55 年 2 月 イトマン株式会社に社名変更
資本金	240 百万円
社員数	144 名（2022 年 8 月末現在）内役員 4 名（常勤 3 名、非常勤 2 名）
事業内容	古紙パルプを主原料とする衛生用紙（家庭紙）の製造販売
関連会社	イトマンリテール株式会社 愛媛パルプ協同組合 アイネット株式会社 スバル株式会社
主要商品	トイレットペーパー、ティッシュペーパー、ペーパータオル、ちり紙、家庭紙をベースとしたギフト商品、シートペーパー、お茶パック ほか
ISO 認証	環境マネジメントシステム取得（2004～）

所在地

本社



本社

愛媛県四国中央市金生町下分 681 番地
TEL:0896-58-1010 FAX:0896-58-1014
info-itoman.jp

営業所



マーケティング本部・大阪オフィス
大阪府大阪市中央区内本町 2-4-16
オフィスポート内本町 7F
TEL:06-6948-5669 FAX:06-6942-5775
osaka-office@e-itoman.jp



愛媛オフィス
愛媛県四国中央市金生町下分 798-2KS 会館 2F
TEL:0896-56-9200 FAX:0896-56-9201
sikoku-office@e-itoman.jp

工場



生産本部・金生工場
愛媛県四国中央市金生町下分 681 番地
TEL:0896-58-1015 FAX:0896-59-6545
production@e-itoman.jp



下柏工場
愛媛県四国中央市下柏町松木 808
TEL:0896-23-2571 FAX:0896-23-2572
shimokasawa-factory@e-itoman.jp

物流拠点



川之江 DC
愛媛県四国中央市川之江町 4087-5 番地
TEL:0896-58-1011 FAX:0896-56-4120
logistics@e-itoman.jp



横浜 DC
神奈川県横浜市鶴見区大黒町 1-21
日本通運株式会社 川崎支店 鶴見物流センター内